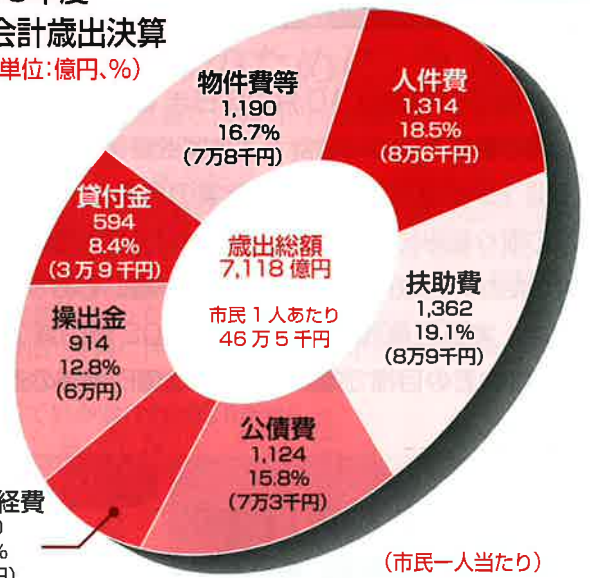


決算特別委員会

平成19年度 一般会計歳出決算 9月29日～10月15日

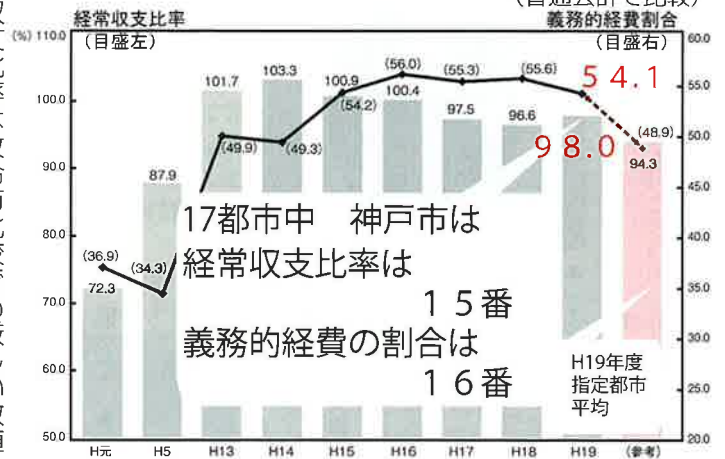
(単位:億円、%)



(市民一人当たり)

経常収支比率と義務的経費割合の推移

(普通会計で比較)



決算特別委員会は、9月26日に設置され、委員会は3つの分科会を設け、局長の審査を行った後、10月10日には、市長に対する総括質疑を行いました。

総括質疑 橋本秀一議員 (西区)

地方財政健全化法における健全化判断比率の4指標と公営企業の資金不足比率が議会で報告された。どの様に取り組まれるのか。



総括質疑に立つ橋本秀一議員

新たな指標では、いずれも下回ったが安心するものでない。行財政改革の努力をさらに進める。

矢田市長

新たな指標で

既存未収金の解消へ

未収金3年間で69億円圧縮

神戸市は、〇七年度を基準に圧縮額などの目標を設定しました。〇八年度は圧縮額約27億円(圧縮率約6%)。〇九年度は約50億円(同約11%)。一〇年度で約69億円(同約15%)です。

なお、経常収支比率は政令市比較でも厳しい数値で、扶助費が増えている。社会保障費、医療費は今後も増加する。全体を通して行財政改革は今後もしなないといけないと思っております。

このほか、橋本議員は、債権管理における具体的な対処方法、市民病院の経営改善、福祉銀行の取り組み、職員の人材育成等について質問しました。

決算特別委員会メンバー

第一分科会



田路 裕規 (灘区)



池田りんたろう (北区)



崎元 祐治 (須磨区)



川原田弘子 (垂水区)



横畑 和幸 (東灘区)



井手 康雄 (東灘区)



荻阪 伸秀 (長田区)



前島 浩一 (西区)



大井としひろ (須磨区)



川内 清尚 (垂水区)



岩田 嘉晃 (西区)



平木ひろみ (中央区)

第三分科会



田中 健造 (北区)



藤原 武光 (垂水区)



橋本 秀一 (西区)



大寺まり子 (兵庫区)



藤原ともこ (北区)

議員提出議案

可決されたもの

議員派遣の件

医療産業都市構想及びデザイン都市に係る施策推進に資するため海外視察調査について

(仮称)協同労働の協同組合法の早期制定を求める意見書提出の件

社会協同の中で仕事を起し社会に参加する道を開く有力な法制度として(仮称)協同労働の協同組合法を速やかに制定するよう国に要望し、意見書を提出します。